# 中学歴史プリント（過去問類似）
# 明治時代

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点　／8

**問1**　明治時代の外交において、日本が近代国家として歩んでいく中で発生した出来事を、古いものから順に正しく並べているものはどれですか。（2018年　大阪公立入試　類似）

**1.** 江華島事件 → ノルマントン号事件 → 日露戦争
**2.** 江華島事件 → 日露戦争 → ノルマントン号事件
**3.** ノルマントン号事件 → 江華島事件 → 日露戦争
**4.** 日露戦争 → ノルマントン号事件 → 江華島事件

**問2**　1905年に調印されたポーツマス条約の内容に不満を持った人々が、東京で暴動を起こした「日比谷焼打ち事件」の直接的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年　和歌山公立入試　類似）

**1.** 日清戦争の約8倍にあたる18億円以上の戦費を投じ、多くの死傷者を出したにもかかわらず、賠償金が得られなかったこと
**2.** ロシアから獲得したリャオトン（遼東）半島を、フランス・ドイツ・ロシアの要求により返還することになったこと
**3.** 日清戦争時よりも少ない戦費で勝利したものの、期待していた韓国（大韓帝国）の保護権が認められなかったこと
**4.** ポーツマス条約において、日本が樺太（サハリン）の全域を領土とすることが認められなかったこと

**問3**　1894年に陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した背景やその後の影響について、正しく述べているものはどれですか。（2017年　富山県公立入試　類似）

**1.** 日本が日露戦争に勝利したことで、国際的な発言力が急速に高まったため調印された。
**2.** 日本に近代的な法律や議会制度が整ったことが評価され、日清戦争の直前に調印された。
**3.** 小村寿太郎が外務大臣として交渉にあたり、日露戦争の講和と同時に達成された。
**4.** 江戸幕府が結んだ日米修好通商条約の内容を、すべて一括で解消するために調印された。

**問4**　明治時代初期、西郷隆盛や板垣退助らによって唱えられた、武力を用いてでも朝鮮に開国を迫ろうとする主張を何というか、選びなさい。（2021年　北海道公立入試　類似）

**1.** 征韓論
**2.** 尊王攘夷
**3.** 富国強兵
**4.** 文明開化

**問5**　1905年、アメリカ大統領セオドア・ルーズベルトの仲介によって結ばれた日露戦争の講和条約に関して、領土の境界がどのように画定されたか説明したものとして正しいものはどれですか。（2019年　大分県公立入試　類似）

**1.** 日本が千島列島全域を領有する代わりに、樺太（サハリン）全域をロシア領とした。
**2.** 樺太（サハリン）の北緯50度以南の地域を日本領とし、千島列島についてはそれまで通り日本領とした。
**3.** 下関条約に基づき、日本が遼東半島、台湾、澎湖諸島とともに、樺太（サハリン）の全域を領有することとした。
**4.** サンフランシスコ平和条約に基づき、日本は樺太（サハリン）南部と千島列島に対するすべての権利を放棄した。

**問6**　1911年の条約改正によって、日本が「関税自主権」を完全に回復したことによる歴史的な意義や背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2018年　熊本県公立入試　類似）

**1.** 輸入品に適切な関税をかけることが可能になり、安価な外国製品から国内産業を保護できるようになった。
**2.** 日本国内で犯罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことが可能になり、司法権の独立が達成された。
**3.** 欧米諸国に対して日本が最も有利な条件で貿易を行う権利を認めさせ、輸出額が輸入額を大きく上回るようになった。
**4.** 地租改正と並ぶ税制改革として、政府の財政基源を農地から工業製品へと転換することに成功した。

**問7**　条約改正の過程をまとめた年表において、井上馨外相による欧化政策などの近代化が進められた時期に発生し、1889年の大日本帝国憲法発布に向けた国内の法整備や、条約改正交渉を後押しする世論の形成に大きな影響を与えた出来事はどれですか。（2024年　埼玉県公立入試　類似）

**1.** ノルマントン号事件
**2.** 下関条約の締結
**3.** 第一次世界大戦の勃発
**4.** 藩籍奉還の実施

**問8**　明治政府が、外貨獲得のための輸出産業を育成するために現在の群馬県に設立した、近代的な製糸技術の普及と人材育成を目的とした官営模範工場の名称を次の中から選びなさい。（2024年　奈良公立入試　類似）

**1.** 富岡製糸場
**2.** 八幡製鉄所
**3.** 長崎造船所
**4.** 足尾銅山

# 答え合わせ・解説

| | | |
|---|---|---|
| **問1** | **答え 1**<br>**江華島事件 → ノルマントン号事件 → 日露戦争** | まず、1875年に朝鮮の首都に近い江華島付近で起きた軍事衝突である江華島事件が発生し、これを機に日朝修好条規が締結されました。次に、1886年にイギリス船の沈没に伴い発生したノルマントン号事件では、領事裁判権（治外法権）の不当さが浮き彫りとなり、条約改正運動が激化しました。そして、1904年にロシアとの間で満州や朝鮮の利権をめぐって日露戦争が勃発しました。 |
| **問2** | **答え 1**<br>**日清戦争の約8倍にあたる18億円以上の戦費を投じ、多くの死傷者を出したにもかかわらず、賠償金が得られなかったこと** | 日露戦争では、戦費が約18億2600万円（日清戦争の約2億3000万円の約8倍）、死傷者数が約8万5000人（日清戦争の約1万3000人の約6.5倍）と、日清戦争を遥かに上回る多大な犠牲を払いました。重い増税に耐えてきた国民は、講和条約によって多額の賠償金が得られると期待していましたが、ポーツマス条約で賠償金が得られないことが判明したため、その不満が暴動へと発展しました。 |
| **問3** | **答え 2**<br>**日本に近代的な法律や議会制度が整ったことが評価され、日清戦争の直前に調印された。** | 条約改正の交渉では、日本国内の法制度の整備が大きな条件となっていました。1889年の憲法発布や諸法典の整備により、近代国家としての基盤が認められたことが撤廃の背景にあります。また、この調印は日清戦争の開戦直前に行われており、戦争中に後顧の憂いなく行動できる環境を整えたという意味でも重要です。小村寿太郎による関税自主権の回復（1911年）との混同に注意が必要です。 |
| **問4** | **答え 1**<br>**征韓論** | 明治維新後、新政府の一部から朝鮮に対して強硬な姿勢で開国を求める声が上がりました。この主張は征韓論と呼ばれ、西郷隆盛らが中心となって進めようとしましたが、海外視察から帰国した岩倉具視らの反対によって退けられました。 |
| **問5** | **答え 2**<br>**樺太（サハリン）の北緯50度以南の地域を日本領とし、千島列島についてはそれまで通り日本領とした。** | 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約では、日本は賠償金を得られなかったものの、ロシアから北緯50度以南の樺太（南樺太）を譲り受けました。千島列島については、1875年の樺太・千島交換条約ですでに日本領として確定していたため、ポーツマス条約後も引き続き日本領となっていました。選択肢にある「樺太全域をロシア領とした」のは1875年の交換条約の内容であり、混同しないよう注意が必要です。 |
| **問6** | **答え 1**<br>**輸入品に適切な関税をかけることが可能になり、安価な外国製品から国内産業を保護できるようになった。** | 関税自主権の回復は、単なる主権の回復だけでなく、経済的な保護貿易を可能にするという意味がありました。これにより、自国の未熟な工業を外国の強力な資本から守り、産業革命をより確実に推進する土台が整いました。なお、外国人を日本の法律で裁く権利は「領事裁判権（治外法権）」であり、1894年に先行して撤廃されています。 |
| **問7** | **答え 1**<br>**ノルマントン号事件** | 条約改正の歩みにおいて、1880年代は近代国家としての体裁を整えるための改革が集中していた時期です。1886年のノルマントン号事件は、不平等条約による不利益を国民に痛感させ、近代的な法体系（憲法や民法など）を確立して主権を回復しようとする動きを加速させる決定的な要因となりました。 |
| **問8** | **答え 1**<br>**富岡製糸場** | 明治政府は、当時日本の主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を図るため、1872年にフランスの技術を導入してこの工場を設立しました。この工場は全国から工女を集め、技術を習得した彼女たちが地元に戻って技術を伝えるという、文字通りの「模範」としての役割を担いました。2014年には世界文化遺産にも登録されています。 |